

令和3年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況



今年度、野球部が使用している城北グラウンドの内野・外野を中心に整備した。事業を行ったことにより、グラウンドの凹凸が減り、砂も厚く整備できたことによりイレギュラーバウンド等が減少し、ケガの数が減った。

また、グラウンド整備を生徒とともに行った事で、生徒自身が自分たちの手で作り上げたという充実感を味わい、自分たちで作ったグラウンド環境を守っていこうという意欲に結びついている。事業を行ったことにより練習後時間をかけ、グラウンドの隅々まで丁寧に整備する姿が以前より比べ多く見られるようになった。

○事業を実施する上での問題点

ご存じのとおり本校グラウンドは、冬期間は大量の雪に覆われる。この事によって、春先は雪解けとともにグラウンドの土が大量に流失してしまう。毎年同じような作業であるが、グラウンドを維持していく上で、土入れは大切な作業であると考えている。

ここ数年は土入れを継続し、加えて土嚢等を用いて土の流出を食い止めているものの、グラウンド完成時に比べ、周囲の土壌が流れてしまっており、土嚢では対処しきれないほどになっている。外野ゾーンも含めグラウンド全体に土・砂を入れるとともに、流失をある程度の食い止めることができる対策をグラウンド周辺に施し、流失した分の土を補充していくことが必要であると考えている。

○今後、本事業に要望すること

毎年土が流出するため、この事業により毎年土を入れていただければありがたい。